

◆質問者10番佐藤啓介議員（流山高校）の質問に対する答弁

答弁者 都市建設委員会委員 小田桐たかし

(答弁)

ご質問にお答えする前に、まず、感謝を申し上げたい。初石駅東口開設をめぐっては、流山高校周辺の東初石地域にとどまらず、柏市地域の方も含め、署名運動など長きにわたる住民運動が行われてきました。そういう課題を、地元の高校に通う高校生が取り上げてくれたこと、さらには、『踏切を渡るのはお年寄りや子供にとって大変危険』と思い測っていただいたやさしさに、お礼を申し上げます。

それでは、佐藤啓介議員のご質問にお答えします。質問に至る要旨で、種々、指摘している事項は「ご指摘の通り」であり、お約束した事項の実現を急がなければなりません。

ただし、実現するには、3つの課題を佐藤議員とも共有したい。一つは、利便性向上、つまり便利になるから何でもいいという訳にはいきません。どのような東口をつくり、その費用は誰が負担し、誰が維持するのか…もし、市のお金を使う場合は、「最小の経費で最大の効果をあげる」ことが法律上、市役所に求められます。これらを一つ一つ決めていく必要があります。

2つ目の課題は、地域住民の納得や配慮です。佐藤議員。今までなかった改札口ができれば…人通りが増える、ポイ捨ても増える、送迎車両の流入も増える、禁煙区域にしているのにたばこを吸われる方もいるでしょう…こういう課題に目を向ける。また、初石駅前ロータリーを夜でも明るく照らしているのは、駅前商店街が電気代を支払っている街路灯です。いまお店をやめられる方も多い中で、東口ができ、人の流れが変わり、今でも大変な経営がさらに厳しくなった…商店街街路灯も続けられない…部活で遅くなっても駅前が暗くて怖い…こういう負の連鎖にならない配慮も必要ではないでしょうか。

3つ目の課題は、鉄道会社の承諾です。この3つの課題を整理するために、私たち議会も各議員も、また市長以下、市役所もどれほどの汗を、これまでも、これからどのように流すのかが問われるとご質問をお聞きして感じました。そしてなにより、高校生を含めた地域住民の応援が欠かせないものと考えます。